

ふれあい高城山登山

編集部

晴天の平成28年10月31日(月)、八上小PTA主催の「ふれあい高城山登山」に参加しました。

この登山は例年、全校生徒が高城山(八上城跡)に登り、6年生が中心となって、八上城の歴史を下級生と共に学ぶ郷土の歴史学習の場です。具体的には、6年生をリーダーに、異学年の児童約12名で構成される縦割り班(6班)があります。各単位で行動を共にし、学習ポイント(18か所)では、6年生が問題を読み上げてみんなで考え、解答します。そしてリーダーが正解を発表してその解説をしました。

9時40分、運動場に縦割り班毎に整列し、細見校長の挨拶、児童会長のことば、そして片山先生の諸注意があったのち、児童106名、職員16名、保護者・地域の方16名、計138名が八上内の重兵衛茶屋を目指し10時に出発しました。



重兵衛茶屋では、早速各リーダーが次のような問題を出しました。

この重兵衛茶屋は、ある人が利用していました。その人とは、誰でしょうか? ①お殿様、②旅行をする人、③地域の人の、正解は①のお殿様です。重兵衛茶屋は、播磨街道と京街道の分岐点に建てられた江戸時代の茶屋建物です。お殿様が参勤交代で江戸に行くために利用しました。

次は春日神社から高城山登山の開始です。隊列を組んで主膳屋敷跡を通り、急な登山道を下級生の面倒をみながら、伝下の茶屋丸まで登り、休憩です。西方に開かれた篠山盆地



の眺めは素晴らしいものでした。続いて、中の壇を通り、さらに急な道をハアハア言いながら登り、右衛門丸、三の丸、二の丸、そして頂上の本丸に昼前に着きました。



頂上の岡田丸に弁当をひろげました。昼食後自由行動、全校生徒の記念撮影、そして問題です。問題1波多野氏は何代まで続いたでしょうか? ①12代目まで、②5代目まで、③8代目まで、正解は②、波多野氏は1485年に初代の波多野清秀から、1579年、明智光秀との戦いに負け、5代目波多野秀治まで続きました。

午後1時下山開始、急な坂道を転ばないように注意しながら下りました。上・下ノ番所、蔵屋敷を通り、朝路池を見学しました。



上朝路池 右 張付けの松 朝路池から再び尾根筋に戻り、張

付けの松、芥丸から三本杉へと下り、誓願寺谷、藤ノ木坂で下山終了、2時前に八上内公民館に着きました。細見校長と児童会副会長より閉会の言葉があり、解散となりました。「ふれあい高城山登山」に同行して、先生や保護者の方々に見守られながら、6年生は課せられた役割を十分に担い、果たしていました。また国指定史跡八上城跡を活かした郷土学習が登山を通して次世代に継承されている姿に感動を覚えました。



ふるさとの文化財(6) 八上城跡・波多野秀治公表忠碑

「なんと美しい山、なんと美しい城だろう。」と、井上靖が『戦国無頼』に書かれた城、八上城跡は高城山に築かれています。

山上の本丸には、玉垣に囲まれた波多野秀治公表忠碑が立っています。この碑について山口喜昭氏の「高城山、波多野秀治公建碑秘話」(『郷友』406号)より抜粋し、加筆しました。

『大正10年秋頃、「開発して一つ山頂に波多野神社を建設しようじゃないか」という議が起こり、昭和5年2月頃、八上の宮城、向井、藤田、日置の森口諸氏が高城山の借地運動

を開始し、同年5月に借地が許可されました。そして、登山道が整備され、多くの人々が登山を試み、婦人会、青年団、郷軍分会などが奉仕作業にあたるなど、高城讃仰の猛運動は郡(篠山市)を挙げて感激と興奮をもって展開されていきます。



表忠碑は、高さ2・7m、縦横0・65m、重さ3・750kg(千貫)、台座の全高は5・32mを計ります。題字は侯爵毛利元昭が書きました。

昭和6年11月17日、表忠碑は注連飾りやかな4匹の大牡牛に引かれ、篠山本通りを練って正午野々垣一の谷池畔の棧道下に着き、18日未明より多数の奉仕者の手で、1週間を費やして25日に建碑された。

昭和7年7月3日、波多野秀治公表忠碑除幕式が行われ、八上尋常高等小学校の尋常科3年以上児童が参列、高等科の男子は武者行列に参加しました。

自治会親睦活動 池上自治会長 長谷川 省悟

公民館の西側に、池上の共同耕作田があります。以前は、水田として活用していましたが、管理が難しいことから放置されています。今年度、畑にし、サツマイモの耕作をすることを常会で提案しました。

平成28年5月21日、サツマイモの苗を百本植え付けました。参加した0歳の乳幼児から90歳の方まで、約40名が参加し、まさに四世代の交流行事となりました。10月末には、芋掘をして天日干しにし、11月6日に焼き芋も大会を実施しました。あいにくの時雨

模様ではありましたが、参加した一人一人が芋を洗い、新聞紙を巻いてアルミホイルで包んだものを火の中に次々と入れていきました。待ち時間には、小学生によるジェスチャーゲームを楽しみました。焼き上がったサツマイモを頬張りながらの四方山話に花が咲く親睦活動になりました。



八上校区 人権・同和教育研究大会

「出会いをつぐむ」
人権・福祉、歌を
通じてお伝えします

・1月29日(日) 13:30
高城会館大会議室
講師 石田裕之さん

誰もが住んでよかったといえるような人権尊重のあたたかい地域づくりを進めていきましょう。歌を通して、心があたたかくなった、肌感覚で心磨きをしたいと思えます。

イベント情報

1月以降予定されているイベントについてお知らせします。

◎1月16日(月) 9:00
高城会館研修旅行
京都石清水八幡宮
主催：高城会館

◎1月29日(日) 13:30~15:00
八上校区人権・同和教育研究大会
(於) 高城会館
石田裕之氏「出会いをつぐむ」
◎1月29日(日) 15:10
消防訓練
(於) 高城会館
主催：高城会館

三世代しめ縄づくり

平成28年12月18日(日) 八上小学校講堂

編集後記

平成28年11月13日から開催された第12回篠山市展(篠山市市民センター)に於いて、池上在住の辻岡(旧姓堀毛)正代さんの作品「山桜」(書)が最優秀賞である河合賞を授与されました。記してお祝い申し上げます。

● 広報誌への掲載記事等をお寄せください。その他ご意見・ご提案もお待ちしております。

● TEL&FAX 079・5006・2429

● メールアドレス (Yakami-machikyoo@gaia.net.ne.jp)

● ホームページ (URL) (http://www.yakami-takashiro.jp)

八上校区まちづくり協議会
〒六六九・二四三七 篠山市糯ヶ坪甲八十三番地一